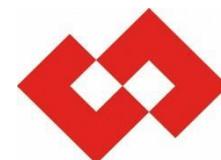


スマートメーターの概要

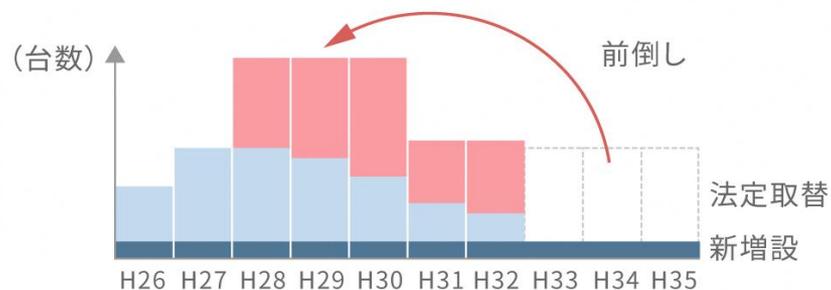
2018年7月19日

東京電力パワーグリッド株式会社
武蔵野支社



1. スマートメーター プロジェクト

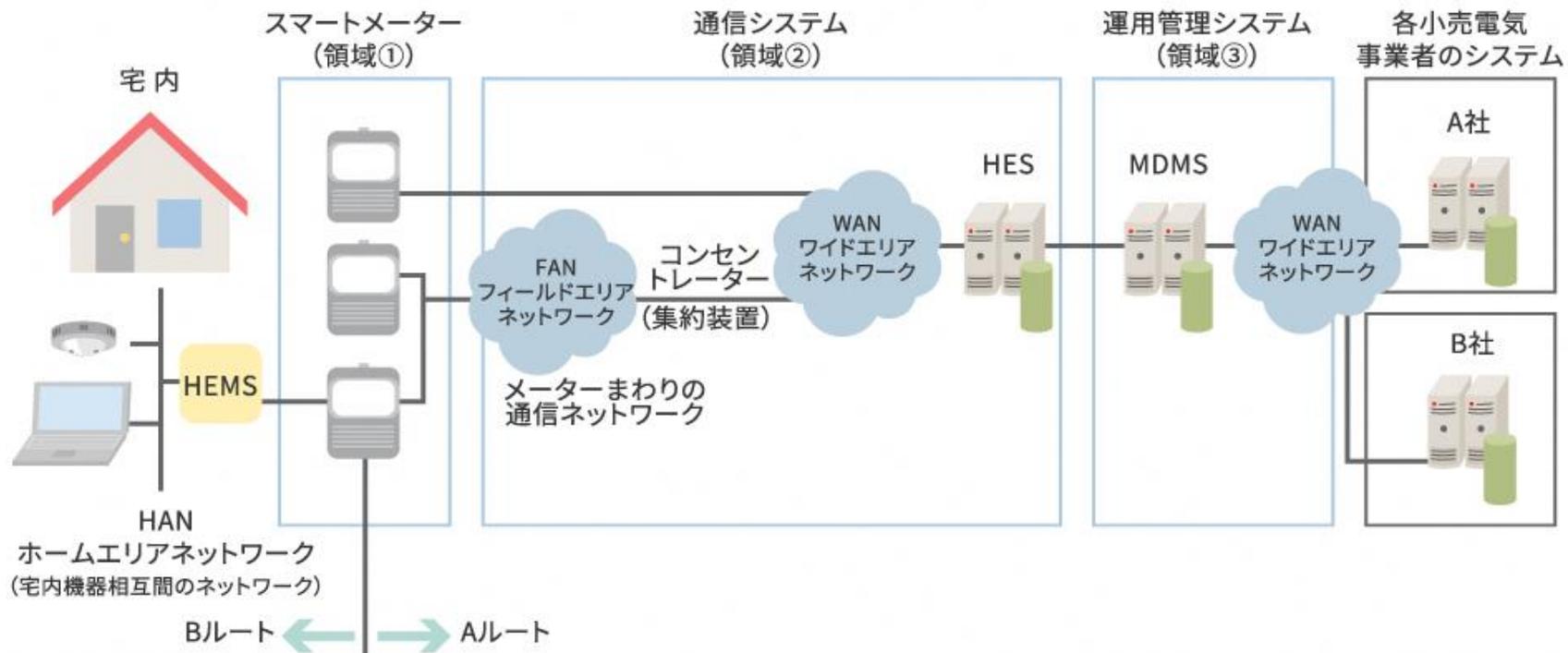
2020年度までにサービスエリア全てのお客さまに約2,700万台のスマートメーターを設置し、30分ごとの電力使用量（積算値）を30分ごとに送信・処理を行うという世界的に見てもチャレンジングなプロジェクトに取り組んでいます。



<設置状況 (2018年6月20日現在) >
約6割 ※多摩地域も同程度



2. スマートメーター・システムの開発



従来型

- 計量部、端子部一体構造
- 単方向計量
- 通信機能無し



スマートメーター

- 計量部、端子部を分類
- 通信機能を具備
- 双方向計量を標準装備



スマートメーター (将来)

- 計量部と通信部を一体化
(部品点数の削減)



3. スマートメーター導入のポイント

スマートメーター導入にあたり、以下のポイントを考慮し、社会、お客さま、当社それぞれのメリット実現を目指しています。

1. 社外の知見や他事業者の既存インフラ等を最大限活用し、設備投資を抑制すること。
2. 国内外事業者の参入を容易にする「オープンな仕様」とし、競争を促進することで、徹底したコストカットを実現すること。
3. 経済合理性のみを追求するだけでなく、スマートメーターに関するネットワークを、デマンドレスポンスの実現や、今後展開に期待される検針データ等を活用した様々なサービスの基盤となる、技術的拡張可能性を備えた社会インフラとすること。

社会にとって

- ✓ 電力システム改革
- ✓ 省エネ会社の実現
- ✓ 関連産業の活性化
- ✓ 社会インフラの構築

お客さまにとって

- ✓ メニュー多様化による最適な料金メニューの適応
- ✓ 電力使用量の見える化による省エネ促進
- ✓ 新たなサービスによる付加価値の享受

当社にとって

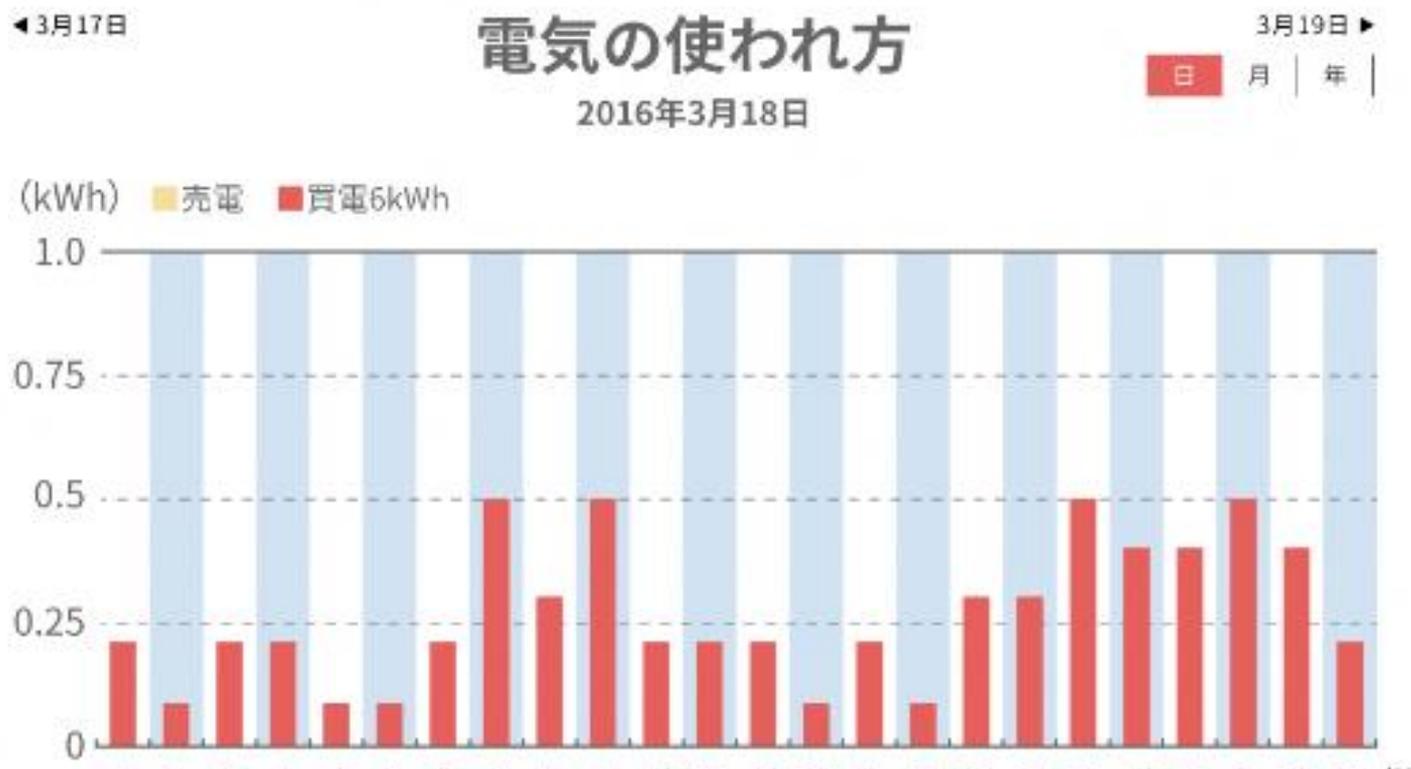
- ✓ 業務効率化と高度化（運用コスト削減）
- ✓ 設備投資の削減
- ✓ 新たな収益源の確保



4-1. スマートメーター導入の効果（1）

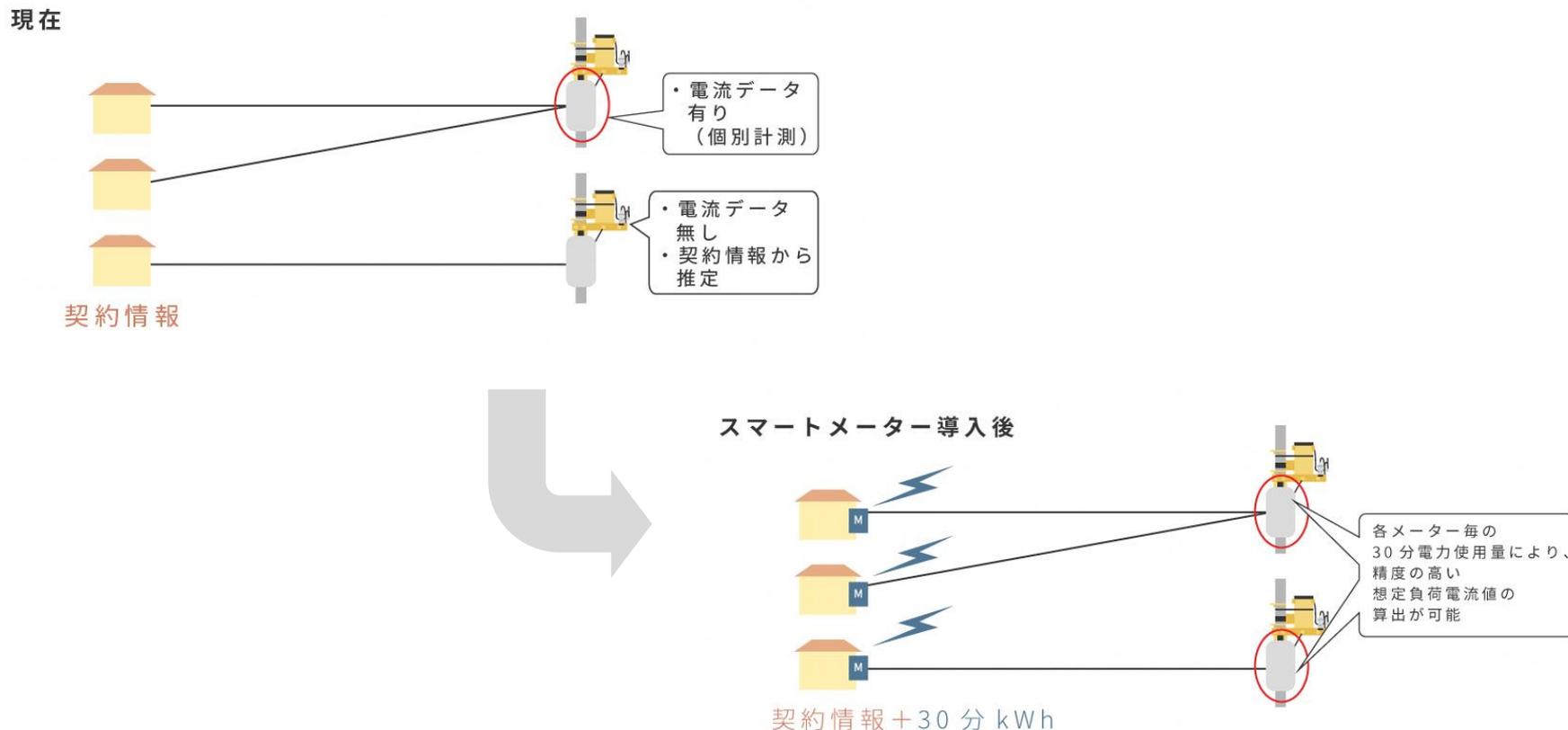
スマートメーターから受信した情報により電気ご使用量の見える化を行えば、例えば、電気のご使用量が多い時間帯において、H E M S 機器(※)により家電機器等を制御するなど、より効果的な省エネが期待できます。

(※) H E M S 機器は、お客さまにてご用意ください。



4-2. スマートメーター導入の効果（2）

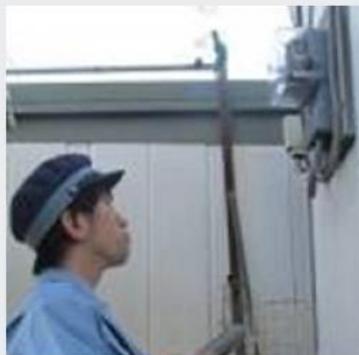
スマートメーター導入により、メーター毎の30分電力使用量から電流を把握できるため、現状より精度の高い想定負荷電流の算出が可能となり、より適正な変圧器容量の選定など、設備の効率化が期待できます。



4-3. スマートメーター導入の効果（3）

スマートメーターにより遠隔自動化されることで、検針業務等の業務効率化がはかられ、お客さまの立ち会い等のご負担軽減にもつながります。

スマートメーターによる業務効率化例



人手による検針



契約変更時のブレーカー取替



電力の接続／切断作業



スマートメーターによる自動化・遠隔操作

スマートメーター



サーバー



東京電力パワーグリッド株式会社



5. 電気の供給者変更をされた方のスマートメーターへの交換

電気のご契約を変更されたお客さまへ

スマートメーターが設置されていないお客さまは**スマートメーターへの交換**を行います

対象のお客さま

電気の供給者変更をされた方のうち、スマートメーターが設置されていないお客さま

工事完了までの流れ

電話連絡

東京電力パワーグリッドの
委託工事会社より
ご連絡させていただきます



取替工事



従来型メーター スマートメーター

完了のお知らせ

「**取替完了のお知らせ**」にてお知らせします



費用はいただきません



室内への立ち入りはいたしません



**ご不在時でも、
工事できます。**



原則、停電いたしません

(やむを得ず停電工事となる場合は
事前にお知らせいたします)

※スマートメーターの計画的な交換工事も順次行っております。

以上

